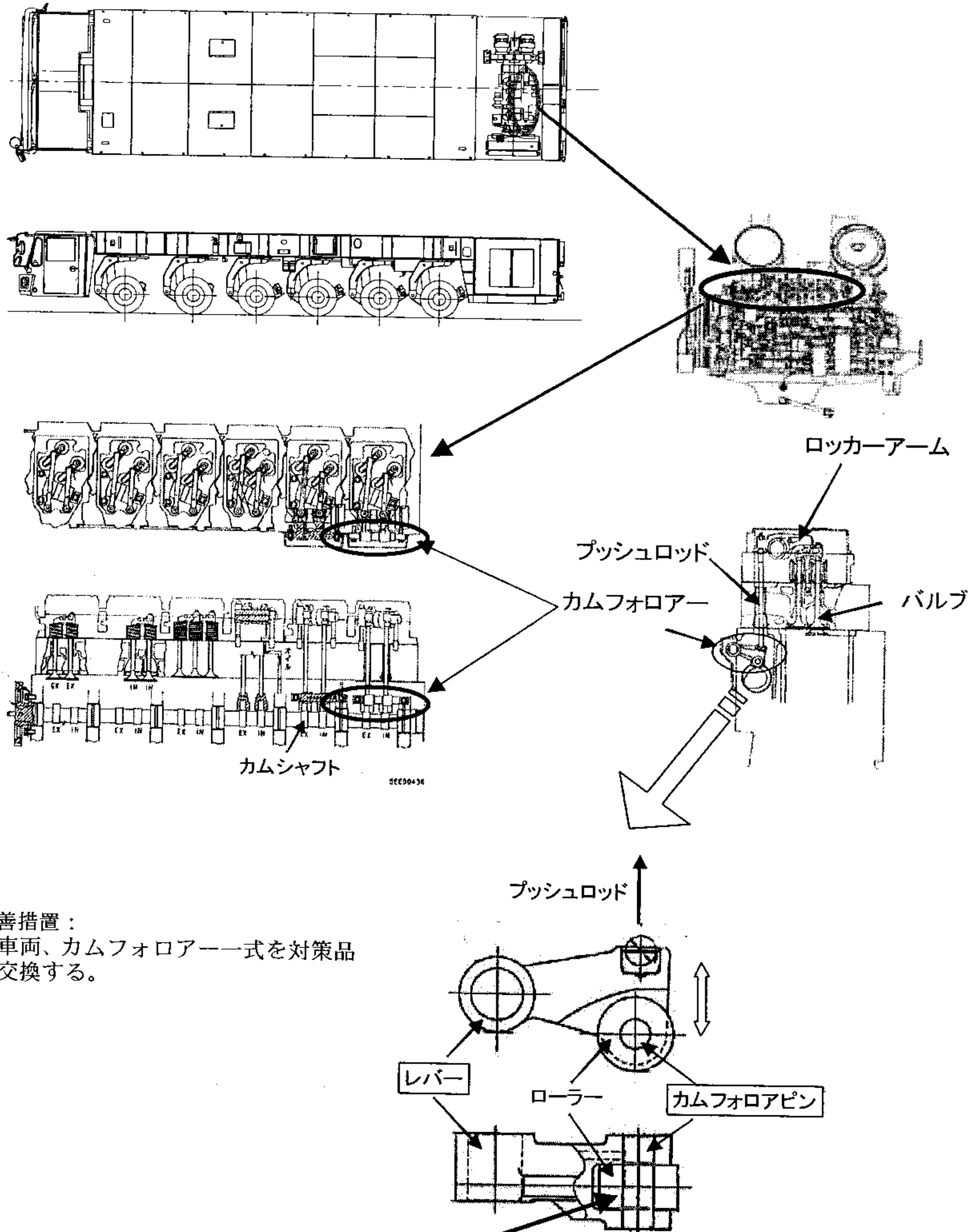


改善箇所説明図

SC1352



改善措置：
全車両、カムフォロアー式を対策品
と交換する。

基準不適合箇所

カムフォロアピンの強度が不足しているため、カムフォロアピンを支持するレバー内部で、当該ピンに亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行してカムフォロアピンが折損し、バルブクリアランスが増大してエンジンのシリンダーヘッドから異音が発生し、最悪の場合、エンジンの破損に至るおそれがある。